

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 平成21年度 事業計画書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1. 地域子育て支援拠点研修事業

◆委託額：16,000,000円

◆主催：財団法人こども未来財団・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

後援：厚生労働省（予定）・全国社会福祉協議会（予定）・開催地市町村 ほか

◆参加費：無料

(1) 9開催地×100～150名（旭川・秋田・山梨・高山・埼玉・兵庫・高知・山口・沖縄）

*開催趣旨

平成19年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、地域子育て支援拠点事業（ひろば型、センター型、児童館型）が新たに再編されました。そこで、行政とともに地域における子育て支援拠点間のネットワークを図りながら、地域子育て支援拠点センターの意義と役割を検証します。また、拠点スタッフ一人ひとりが日頃の活動を振り返り、見識を深め、スキルアップに寄与することを目的とします。

*プログラム構成

地域子育て支援拠点事業の概要と展望／行政・NPO間の連携・協働／運営者向け、スタッフ向けの目的別研修／参加型ワークショップなど

*対象者

地域子育て支援拠点事業や、場を持つ子育て支援に関わる実践者・スタッフ・行政担当者・研究者など

◆開催スケジュール

	旭川開催	秋田開催	埼玉開催	山梨開催	高山開催
開催地	北海道 旭川市	秋田県 秋田市	埼玉県 さいたま市	山梨県 甲府市	岐阜県 高山市
日程	9/27(日)	10/24(土)	7/20(月・祝)	12/6(日)	10/30(金)
会場	旭川ターミナルホテル	秋田県生涯 学習センター	埼玉会館	かいてらす	高山市民 文化会館
開催地 事務局	NPO法人旭川 NPO サポートセンター	NPO法人メリーゴー ランド	NPO法人新座子 育てネットワーク	NPO法人Happy Space ゆうゆうゆう	まちひとぶら座かん かこかん
ひろば全協 担当理事	山田智子	野口比呂美	坂本純子	奥山千鶴子	丸山政子

	兵庫開催	山口開催	高知開催	沖縄開催
開催地	兵庫県 尼崎市	山口県 山口市	高知県 高知市	沖縄県 那覇市
日程	12/13(日)	12/5(土)	7/18(土)	11/14(土)
会場	ホテルニューアルカイク ・尼崎総合文化センター	山口南 総合センター	高知市文化プラザ かるぽーと	沖縄県立博物館・美術館
開催地 事務局	あまがさきキッズサポーター わいわいステーション	NPO法人あっと	NPO法人わははネット	保育すけっと in ナハ
ひろば全協 担当理事	安孫子浩子	篠田絵里	中橋恵美子	奥山千鶴子

(2) 中堅支援者向け研修 1 開催地×200名(東京)

*開催趣旨

平成14年度から始まった「つどいの広場事業」が平成19年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、「地域子育て支援拠点事業」(ひろば型、センター型、児童館型)として再編されました。これまで地域子育て支援の実践者として経験を積んでこられた方々や、地域子育て支援拠点の施設長、責任者を対象に、基礎的な知識を踏まえた上での専門研修を実施します。拠点スタッフ一人ひとりがこれまでの活動を振り返り、専門的な見識を深め、より高いスキルを身に付けることを目的とします。

*プログラム構成

- 地域子育て支援拠点事業の概要と展望
- 運営者向け、スタッフ向けの目的別研修「分科会」
- 近隣の子育てひろば、支援センターの施設見学会(オプション)

*対象者

地域子育て支援拠点の責任者および施設長または、場を持つ子育て支援に3年以上の経験があるスタッフ

	東京開催
開催地	東京都練馬区
日 程	11/22(日)
会 場	武蔵大学
開催地 事務局	NPO 法人手をつなご
ひろば全協 担当理事	土屋美恵子・千葉勝恵

2. 住友生命保険相互会社 創業100周年記念事業 ～未来を築く子育てプロジェクト～

平成21年度研修プログラム年間計画 ◆助成額：7,000,000円

(1) ひろばコンサルテーション事業

- ・対象：ひろば全協「会員」
- ・全国10か所程度で実施予定。→実施時期：6月20日～10月
- ・参加者は1か所20名程度
- ・講師は1か所1人。

(2) ファシリテーター養成事業

日時：2009年6月27日(土)13:00～21:00/28日(日)10:00～12:30

講師：渡辺颯一郎先生 日本福祉大学 教授

(3) 基礎研修

- 日時 ◆横浜：基礎研修8/31(月) フォローアップ10/5(月)
◆埼玉：基礎研修10/4(土) フォローアップ11/15(土)
◆岡山：基礎研修1月30日(土) フォローアップ2月27日(土)

会場：開催地事務局会議室等

講師：ファシリテーター1名、グループファシリテーター4名

受講者：20～24名

(4) 中級者研修用ファシリテーターマニュアル作成

- ・中級者向け研修でファシリテーターが使用するマニュアルを作成する。

(5) 中級者研修のモデル実施 (1回)

- ・10月10日(土)、11月7日(土) 香川県善通寺市にて実施予定。
- ・子育てひろばスタッフ研修テキスト第2章を使ってモデル実施をする。

3. 「子育てひろば0123育ちの詩」事業 *WAM助成金事業(独立行政法人福祉医療機構)

◆助成額:8,642,000円

事業目的

子育て家庭の初めの一步を応援する全国の地域子育て支援拠点が、子育て家庭の精神的サポートを果たしている実態(心温まるエピソードなど)を丁寧に拾い、社会に訴えるため、地域子育て支援拠点事業の機能、役割、内容について、利用者が感じる子育てひろば・拠点に対する想い、または子育てひろば・拠点で出会いを通じて育まれたエピソードを作品集にする。地域子育て支援拠点事業については、身近な場所に量的にも拡充することが求められているが、実際にはひろば・拠点での出会い、つながりから親自身が子育ての自信を取り戻したり、親同士の支えあいの子育てに発展するなどの成果が語られてはいるものの、質的評価についての計測方法が確立していない。そこで、社会的に啓発の意味も込めて、作品集の募集・作成を行い、地域子育て支援拠点事業の質的な評価、機能、役割の普及・啓発に寄与することを目的とする。

事業計画

(1) 委員会の開催

- ・委員会を設置し、募集内容の検討、掲載作品の審査、決定、事業効果の確認をする。

(2) 作品募集～作品集作成

- ①目的 地域子育て支援拠点事業の質の向上をはかるために、利用者が感じる子育てひろば・拠点に対する想いを物語(育ちの詩)という形で集め編集、作品集を作成し配布する。
- ②内容 **A. 800字ひろば物語**(800字のショートストーリー) 30点募集
B. フォトひろば物語(写真と200字のフォトストーリー) 20点募集

4. 情報提供・収集活動

(1) ホームページによる情報提供

- ・各地のひろば掲載(会員の中でHP掲載可とした団体のリンク。情報交流、ネットワーク形成を促すきっかけとする。)
- ・研修セミナーの広報と開催報告、厚労省等からの情報提供書類の掲載など

(2) メールニュース配信: 会員限定・月1回定期+臨時号の発行

(3) メーリングリストの運営: 子育てひろば研修セミナー開催のために各開催地事務局との連携を行う

(4) 電話相談対応: 立ち上げ・運営にあたっての情報紹介等

(5) 新聞等メディア対応

(6) その他情報提供事業

5. 子育てひろば総合補償制度の拡充 *自主事業(引き受け保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社)

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会の会員限定の補償制度で、任意加入である補償制度の更なる普及を目指す。また、事故申請の内容を確認し、各ひろばへの情報還元を行うなど、ひろばでの事故予防にも努める。

【対象となる会員】 「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方

【保険期間】 1年間(平成21年4月1日午後4時~平成22年4月1日午後4時まで)

【概要】 下記の3つの組み合わせによる申請

- (1) 賠償責任補償制度
- (2) ひろば施設内参加者傷害見舞金制度
- (3) 近隣活動・移動中傷害見舞金制度

6. 自主事業 公開セミナーの開催

21年度から地域子育て支援拠点事業が第2種社会福祉事業に位置づけられた。ひろば全協は、地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」作成に関する調査研究事業に協力団体として関わり、今年度、自己点検や自己評価のための自主ガイドラインを作成するため、公開セミナーでその進捗と今後の展望についてディスカッションを行う。

(1) 日時:平成21年6月14日(日)14:30~16:30

(2) 場所: 島根イン青山

(3) プログラム

パネルディスカッションテーマ「地域子育て支援拠点事業自主ガイドラインづくりの進捗と今後の展望」

<パネリスト>(五十音順)

●朝川知昭氏(厚生労働省少子化対策企画室 室長)

●内山晃治氏(埼玉県福祉部少子政策課長)

●渡辺顕一郎氏(日本福祉大学 教授)

<コーディネーター> ●坂本純子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 副理事長)

(4) 参加費:無料

7. 地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」作成に関する調査研究事業(協力事業)

◆財団法人こども未来財団調査研究事業と渡辺顕一郎教授による委託契約。

調査研究の目的

地域子育て支援拠点事業については、児童福祉法に基づく子育て支援事業、社会福祉法における第2種社会福祉事業としての位置づけが明確になる中、子育て家庭にとって身近な拠点施設として、子ども家庭福祉の多様な支援を担うことが期待される。他方、当該事業における原理・原則や支援方法について統一的に定めたものがなく、実際には支援の質に格差が生じているため、活動の指標となるものを明示し、実践者による自己評価を通じた支援の質的向上を図ることが重要な課題ともなっている。

当研究グループは、これまでに地域子育て支援拠点事業の活動指標の原案(作業モデル)作成を試みてきたが、今回の研究ではこのモデルを複数の先行団体において試行的に活用し、活動評価の分析を通してその有用性と支援の質的变化を実証的に検証することで、普及可能なガイドラインの作成及び洗練化を図ることを目的とする。

実施予定期間:平成21年6月~平成22年3月16日

(1) 主任研究者 渡辺顕一郎 日本福祉大学 教授 (敬称略)

(2) 分担研究者 大豆生田啓友 関東学院大学人間環境学部 准教授

金山美和子 長野県短期大学幼児教育学科 講師

橋本真紀 関西学院大学教育学部 専任講師

坂本純子 NPO法人新座子育てネットワーク 代表理事

野口比呂美 NPO法人やまがた育児サークルランド 代表

奥山千鶴子 NPO法人びーのびーの 理事長

(3) 事務局 野口比呂美 ひろば全協 副理事長 (NPO法人やまがた育児サークルランド理事長)

8. 後援事業 第14回児童虐待防止シンポジウム

『児童虐待防止法施行10年に向けて』子ども虐待防止をめぐる新たな動き』

(1) 日時 平成21年6月20日(土) 13:30~17:00

(2) 会場 全国社会福祉協議会・灘尾ホール

(3) 主催 NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク・(財)こども未来財団